

シラバス参照

講義名	情報科学概論		
(副題)	Introduction to Information Science		
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	月曜日	代表時限	3 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	1年後期		
必修・選択区分	学部必修		

担当教員

職種	氏名
教授	◎ 越智士郎

授業の概要	政府が2021年度から推進している「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、第5期基本計画で提起された「Society 5.0」の具体化が宣言されている。これは、「『狩猟社会』『農耕社会』『工業社会』『情報社会』」に続く、人類史上5番目の新しい社会」として定義されているものである。 一方、産業界においては、データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の取り組みが進んでいる。 教育界では、小学校プログラミング教育やGIGAスクール構想など、教育の情報化の取り組みも加速されつつある。 本授業ではまず、これらの動向を概説する。その後、政府の「AI戦略2019」が掲げた目標「文理を問わず、全ての大学・高専生が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」に従い、そのカリキュラムに沿った授業と演習を行う。さらに、情報セキュリティについても説明する。 (担当教員：企業での実務経験あり)
実務経験を活かした教育内容	担当教員は公的研究機関等でオープンデータの作成やユースケースの開発にかかわってきた。授業ではオープンデータやビッグデータなどビジネスや行政において、そうしたデータの実利用の事例などを紹介しながら、実務に活かすためのノウハウを伝える。
キーワード①	Society 5.0
キーワード②	デジタルトランスフォーメーション(DX)
キーワード③	データサイエンス
キーワード④	AI(人工知能)
キーワード⑤	ビッグデータ

到達目標

到達目標①	「Society 5.0」と「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の基本的内容を理解し、説明できる。(20%)
到達目標②	現在進められている「教育の情報化」の概要を理解し、説明できる。(10%)
到達目標③	「数理・データサイエンス・AI」の基礎的内容を理解し、課題や留意事項も踏まえた上で、その活用に取り組むことができる。(60%)
到達目標④	数百件～数千件レベルの実データの集計・加工・分析ができる。(10%)

到達目標⑤						
卒業要件・資格関連など						
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
◎						
ディプロマポリシー						
人間性の向上（DP1）		専門性の向上（DP2）			社会性の向上（DP3）	
○		◎			○	
ディプロマポリシー配分比率						
				ディプロマポリシー配分比率		
人間性の向上（DP1）				10%		
専門性の向上（DP2）				80%		
社会性の向上（DP3）				10%		
カリキュラムポリシー						
カリキュラムポリシー①				カリキュラムポリシー②		
現①現代社会に必要な基礎知識の向上						
キー・コンピテンシー（重視する能力）						
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ		教育支援力 ※子ども育成学部のみ	
		◎				
教授方法（授業方法）						
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動	
◎		○				
授業計画表						
回	【授業内容】			（事前・事後学習）		（事前・事後学習時間）
第1回	授業ガイダンス。数理・データサイエンス・AI教育クロブラム（MDASH）について。GIGAスクール構想について。 なお授業ではノートPCを使用する必要があるため、毎回（満充電の状態）ノートPCを持参するようにしてください。			〔予習〕 新聞記事やインターネットで「デジタルトランスフォーメーション（DX）」について調べておくこと。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。		70分
第2回	社会におけるデータ・AI活用 - 「1-1. 社会で起きている変化」 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。）			〔予習〕 テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。		90分
第3回	社会におけるデータ・AI活用 - 「1-2. 社会で活用されているデータ」 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。）			〔予習〕 テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。		90分
第4回	社会におけるデータ・AI活用 - 「1-3. データ・AI活用領域」 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft			〔予習〕 テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確		90分

	Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	
第5回	社会におけるデータ・AI活用 - 「1-4. データ・AI利用のための技術」 理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第6回	社会におけるデータ・AI活用 - 「1-5. データ・AI利用の現場」 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第7回	社会におけるデータ・AI活用 - 「1-6. データ・AI利用の現場」 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第8回	前半のまとめ 中間試験	〔予習〕これまでの授業内容を復習しておくこと 〔復習〕中間試験の結果を確認し、間違った部分は復習しておくこと	90分
第9回	データリテラシー - 「2-1. データを読む」 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第10回	データリテラシー - 「2-2. データを説明する」 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第11回	データリテラシー - 「2-3 データを扱う」 (教育用標準データセット[SDDSE]を用いた演習を行う。理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第12回	数百件～数千件レベルの模擬データを用いた集計・加工・分析の演習を行う。	〔予習〕第1回から第11回までの説明スライドを見返しておくこと。 〔復習〕自分が行った集計・加工・分析結果を見直し、間違っていた点や改善すべき点があれば、やり直しを行う。	90分
第13回	データ・AI活用における留意事項 - 「3-1. データ・AIを扱う上での留意事項」 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第14回	データ・AI活用における留意事項 - 「3-2. データを守る上での留意事項」と情報セキュリティの課題・事例・法律 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行います)	〔予習〕テキストの該当箇所を読んでおく。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
第15回	全体まとめ (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	〔予習〕これまでの説明スライドを見返しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	90分
評価方法		中間試験（45%）、期末試験（50%）、授業で課した課題（5%）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。	
使用資料＜テキスト＞		北川源四郎/竹村彰通編「教養としてのデータサイエンス改訂第2版」（講談社，2024）	
使用資料＜参考図書＞		内閣府 「科学技術・イノベーション」のホームページ https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain.html 文部科学省 「教育の情報化の推進」のホームページ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/index.htm 「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」 http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/pdf/model_literacy.pdf 特許庁のホームページ https://www.jpo.go.jp	

	文化庁のホームページ https://www.bunka.go.jp
授業外学修等	数回の授業において課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。
授業外質問方法	情報共有ツール(Teams)やメール(ochi@tuins.ac.jp)の利用、直接研究室を訪問するなどして、気軽におたずねください。
オフィス・アワー	木曜日・1限目(9:10~10:40)・423研究室

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	フランス語Ⅱ		
(副題)	FrenchⅡ		
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	4		
代表曜日	火曜日	代表時限	3時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	1年後期		
必修・選択区分	選択必修		

担当教員

職種	氏名
非常勤講師	◎ 大谷孝行

授業の概要	フランス語Ⅰで学習した内容を踏まえながら、さらに複雑なフランス語の表現を学習します。具体的には、未来や過去など、現在以外のことを語る表現について学びます。また、映像教材を見ながらパリを旅してその魅力を探るとともに、フランスの代表的な歌（シャンソン）も学びます。
キーワード①	初級文法
キーワード②	初級会話
キーワード③	シャンソン

到達目標

到達目標①	①基本的なフランス語の文章を音読できる。(20%)
到達目標②	②フランス語の基本的な文章の構造を理解でき、基本的な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。(70%)
到達目標③	③フランスの首都パリの特色（観光名所、歴史的建築物など）を学び、他者に説明することができる。(10%)
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー

人間性の向上（DP1）	専門性の向上（DP2）	社会性の向上（DP3）
	◎	○

ディプロマポリシー配分比率

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	0%
専門性の向上（DP2）	60%
社会性の向上（DP3）	40%

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現②国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ	教育支援力 ※子ども育成学部のみ
◎	○			

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	◎	◎			

授業計画表

回	【授業内容】	（事前・事後学習）	（事前・事後学習時間）
第1回	前期の復習 前期で学んだ事項について復習します。	〔復習〕 動詞の活用について復習しておく。	30分
第2回	前期の復習 前期で学んだ事項について復習します。	〔復習〕 基本数詞について復習しておく。	30分
第3回	会話「この絵は美術館に来たばかりです」 近接過去venir de について。	〔復習〕 近接過去の表現についての復習。	30分
第4回	会話「それを訳してみましょう」 近接未来 aller について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕 近接未来の表現についての復習。	30分
第5回	補語人称代名詞 「私を（私に）」「あなたを（あなたに）」「彼を（彼に）」などの表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕 補語人称代名詞の用法についての復習。	30分
第6回	会話「座りましょう」 代名動詞の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕 代名動詞の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第7回	会話「あそこに小さな休憩室があります。」 様々な非人称表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕 様々な非人称表現の復習。	30分
第8回	補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現 補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現についての演習で理解を深めます。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕 補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現についての復習。	30分

第9回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 過去のことを表す。複合過去形。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕過去分詞の作り方の復習。	30分
第10回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 様々な複合過去の表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕複合過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第11回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 様々な複合過去の表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕複合過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第12回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 非人称表現（天候、時刻）。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕非人称表現（天候、時刻）の復習。	30分
第13回	「誰かがドアをノックしている」 主語代名詞on の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕主語代名詞on の用法についての復習。	30分
第14回	「このバッグはあれよりも高い」 比較級、最上級表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕比較級、最上級表現についての復習。	30分
第15回	まとめ。これまでの授業の復習。 特殊な形の比較級・最上級。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕特殊な形の比較級・最上級についての復習。	30分
第16回	中間試験		
第17回	会話「ここが最後の会場、ヨーロッパ絵画の会場です」 前出の名詞を受ける指示代名詞の用法。	〔復習〕指示代名詞についての復習。	30分
第18回	会話「それは知りませんでした」 直説法半過去形の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕直説法半過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第19回	会話「私たちはそれを誇りに思います」 中性代名詞en, y, leの用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕中性代名詞en, y, leの用法についての復習。	30分
第20回	フランス文化紹介「印象派絵画」 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕「印象派絵画」の作者名、作品名についての復習。	30分
第21回	会話「コーヒーを飲みませんか？」 提案・勧誘表現Si+直説法半過去？	〔復習〕提案・勧誘表現についての復習。	30分
第22回	会話「来た時には私たちに知らせてくださいね」 直説法単純未来の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕直説法単純未来の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第23回	会話「私はコーヒーにしたいのですが」 条件法現在の用法。語気緩和。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	〔復習〕条件法現在の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第24回	会話「あなたがいなければ、今回の訪問はさほど楽しかったでしょう」 条件法現在の用法。事実に反する仮定。	〔復習〕条件法現在の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

	授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
第25回	様々な動詞の活用の復習 直説法半過去、直説法単純未来、条件法現在についての演習問題。	〔復習〕直説法半過去、直説法単純未来、条件法現在についての復習。	30分
第26回	パリ散策(1) パリ市内地図を見ながら、パリの観光名所を散策します。	〔復習〕観光する際に会えるフランス語について理解できるようにする。	30分
第27回	パリ散策(2) パリ市内地図を見ながら、パリの観光名所を散策します。	〔復習〕観光する際に会えるフランス語について理解できるようにする。	30分
第28回	パリ散策(3) パリ市内地図を見ながら、パリの観光名所を散策します。	〔復習〕観光する際に会えるフランス語について理解できるようにする。	30分
第29回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソンを紹介し、できれば一緒に歌いましょう。	〔復習〕シャンソンの歌詞の日本語訳を考える。	30分
第30回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソンを紹介し、できれば一緒に歌いましょう。	〔復習〕シャンソンの歌詞の日本語訳を考える。	30分
第31回	期末試験		

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(20%) 到達目標 2 については、毎回の小テスト(40%)、期末筆記テスト(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末筆記テストで評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 ②社会性：40%、③専門性：60%
使用資料＜テキスト＞	田村弘行『フランス語でくようこそ』三修社。
使用資料＜参考図書＞	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。
授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。
オフィス・アワー	授業開始前や授業終了後に直接ご相談ください。

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	ジェンダー論		
(副題)	Gender Studies		
開講責任部署	子ども育成学部子ども育成学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	火曜日	代表時限	4 時限
校地	呉羽キャンパス		
開講時期	2年後期		
必修・選択区分	選択		

担当教員

職種	氏名
教授	◎ 彼谷環

授業の概要	社会的・文化的な性のありようを意味するジェンダーは、時代や地域、社会によって意識や変化がみられる。ジェンダーの概念のような社会のなかで成立し、国・地域の制度や法に影響を与えてきたのだろうか。日本では第5次男女共同参画社会基本法において多様な視点から「ジェンダー平等」施策が講じられているが、現在どこまで実現しているだろう。諸外国との制度のから、日本が抱える課題とそれを克服する視点について考えていこう。オンライン授業を通じて、受講者同士の意見交換も活行う予定である。
キーワード①	ジェンダー平等
キーワード②	性の多様性
キーワード③	隠れたカリキュラム
キーワード④	DV
キーワード⑤	男女共同参画基本法

到達目標

到達目標①	①ジェンダーの概念について、説明できる(20%)。
到達目標②	②これまで普遍的だとされていた考え方にし、異なる視点があることを理解できる(40%)。
到達目標③	③「ジェンダー不平等」が生じる社会的・政治的背景を考え、解決する方法について講でできる(40%)。
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
○		○	○			

ディプロマポリシー

人間性の向上 (DP1)	専門性の向上 (DP2)	社会性の向上 (DP3)
		◎

ディプロマポリシー配分比率

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	0%
専門性の向上（DP2）	0%
社会性の向上（DP3）	100%

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
子①子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ	教育支援力 ※子ども育成学部のみ
○	○		◎	○

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	○		◎		○

授業計画表

回	【授業内容】	（事前・事後学習）	（事前・事後学習時間）
第1回	ガイダンス——「ジェンダー」とはなにか。「両性の平等」原則と現実とのギャップを日本、世界の現状から考える。	〔予習〕「ジェンダー」概念について、文献やネットの情報を活用して調べておく。〔復習〕現代社会でみられる日本と世界のジェンダー差別について整理する。	180分
第2回	近代日本における性差別と今日の動向を整理する——「性別二元論」に基づく社会制度はどう変化しているか？	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕多様な性の存在を認める諸外国の制度について整理しておく。	180分
第3回	教育——学校教育におけるジェンダー・バイアス、「隠されたカリキュラム」について考える。	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕文部科学省の通達の内容を理解し、望ましい教育現場の在り方について自分の意見をまとめる。	180分
第4回	家族——現代に残る「家制度」、変容する家族のあり方を考える。	〔予習〕レジュメに目を通しておく〔復習〕家庭生活における男女平等が実現した部分、そうでない部分を整理しておく。	180分
第5回	生殖補助医療とリプロダクティブ・ライツ	〔予習〕資料を読んでおく。〔復習〕生殖補助医療について最新の動向を調べてみる。	180分
第6回	ジェンダーギャップ解消を目指して	〔予習〕資料を読んでおく。〔復習〕世界の様々な団体が発表するジェンダーギャップ指標からわかることをまとめる。	180分
第7回	社会保障——家族モデルの変化と社会保障制度の未来について考える。	〔予習〕テキストの該当箇所を通読し、日本の現行制度を調べておく。〔復習〕日本の社会保障制度と諸外国のそれとの違いをまとめる。	180分
第8回	性暴力・その1——刑法上の犯罪はどのように変容してきたかを考える。	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕刑法における罪の種類が変更したことについてまとめる。	180分
第9回	性暴力・その2——ドメスティック・バイオレンス（DV）、デートDV、児童虐待の「いま」を学ぶ。（外部講師・自治体の相談支援員による講義）	〔予習〕DVが生じる理由と子どもに与える影響について、他の授業科目で学んだことも活用しながら整理する。〔復習〕外部講師の話聞いて感想をまとめる。	180分
第10回	産む自由／産まない自由——「リプロダクティブ・ライツ」（性的自己決定権）の歴史と内容を理解する。	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕宗教や文化を背景に、諸外国の制度に違いがあることを理解する。	180分
第11回	性表現——ポルノグラフィと「性表現の自由」、刑法の「わいせつ罪」規定との関係を考える。	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕既存の法律を根拠に、どこまでが「表現の自由」として認められるかを考える。	180分
第12回	政策決定——政治・行政における女性参加の促進、「ポジティブ・アクション」について検討する。	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕女性の政治参加が顕著な諸外国の制度とその効果についてまとめる。	180分
第13回	司法——犯罪被害者・犯罪加害者とジェンダーの関係性を考える。 性被害者に対する報道による「二次被害」の深刻	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕犯罪被害者と加害者の報道の仕方について、新聞やネットニュースを比較しながらまとめる。	180分

	さ、「加害者に対する教育」にはどのようなものがあるか。		
第14回	男性にとってのジェンダー——多様な社会を目指して	〔予習〕テキストの該当箇所を通読する。〔復習〕男女平等の実現を男性の視点から考察する重要性を理解する。	180分
第15回	世界のなかの性差別——児童婚、持参金制度（インド）、女子割礼（アフリカ諸国）等、人権侵害と指摘される文化的慣習について考える。	〔予習〕これまで学んだ諸外国の性差別について整理しておく。〔復習〕授業内容について、「子どもの権利」の保障という視点からも深められるようにする。	180分
第16回	0		

評価方法	到達目標項目①及び②では、期末レポートで評価する（60％）。 到達目標項目③では、主に授業中の課題で評価する（40％）。 なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。
使用資料＜テキスト＞	犬伏由子・君塚正臣・井上匡子編『レクチャー ジェンダー法・第2版』（法律文化社）
使用資料＜参考図書＞	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	・授業のはじめに今日生起している法的社会的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読んでくこと。 授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。
授業外質問方法	現代社会学部と合同のオンライン授業のため、時間外の質問はメールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp
オフィス・アワー	火曜日・3限目（13:10～14:40）・E312研究室

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	Creative Writing		
(副題)	Creative Writing		
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	月曜日	代表時限	4 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	1年後期		
必修・選択区分	選択		

担当教員

職種	氏名
准教授	◎ M・Frank

授業の概要	This course will introduce students to creative writing in English. Through writing in various genres, students will improve their command of English vocabulary and expression. Students will also examine the connection between visual image and creative writing, as in manga. As a final project, students will produce a small class magazine of their creative writing. Throughout the course, students will be invited to think of their English writing as work (作品) rather than homework (課題). The course encourages students to take ownership of their English and use it as a means of understanding and changing the world, both locally and globally.
キーワード①	Creative writing
キーワード②	Critical thinking
キーワード③	Writing
キーワード④	Reading
キーワード⑤	Workshop

到達目標

到達目標①	Improve English skills (particularly reading and writing) through creative writing (25%)
到達目標②	Increase vocabulary and range of expressions in written English (25%)
到達目標③	Gain critical thinking skills through the practice of creative writing in English (25%)
到達目標④	Learn to revise and improve writing through drafting and peer workshops (25%)
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー

人間性の向上（DP1）	専門性の向上（DP2）	社会性の向上（DP3）
◎	◎	○

ディプロマポリシー配分比率

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	35%
専門性の向上（DP2）	35%
社会性の向上（DP3）	30%

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現②国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ	教育支援力 ※子ども育成学部のみ
◎	○	○		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		◎		

授業計画表

回	【授業内容】	（事前・事後学習）	（事前・事後学習時間）
第1回	Course introduction: Why creative writing? Strategies for creative writing. Free write: self-introduction	【予習】 【復習】 Rewrite self-introduction based on class feedback	120分
第2回	Writing from experience: personal writing	【予習】 Read and complete materials from the teacher 【復習】 Revise personal writing as instructed	120分
第3回	Essential tools of creative writing: metaphor and analogy	【予習】 Read and complete materials from the teacher 【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第4回	Writing from life: descriptive writing	【予習】 Read and complete materials from the teacher 【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第5回	Descriptive writing workshop	【予習】 Prepare as instructed by the teacher 【復習】 Revise writing based on workshop feedback	120分
第6回	Writing from the imagination: fiction writing	【予習】 Read and complete materials from the teacher 【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第7回	Fiction writing workshop	【予習】 Prepare as instructed by the teacher 【復習】 Revise writing based on workshop feedback	120分
第8回	Mid-term portfolio evaluation and test	【予習】 Prepare portfolio materials using teacher's guidelines 【復習】 Self-evaluation: what have I learned so far?	120分

第9回	Text and image in creative writing: manga	[予習] Read and complete materials from the teacher [復習] Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第10回	Writing about characters: Dramatic dialogue	[予習] Read and complete materials from the teacher [復習] Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第11回	Creative writing and critical thought: Changing the world with writing	[予習] Read and complete materials from the teacher [復習] Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第12回	The music of language: poetry and song lyrics	[予習] Read and complete materials from the teacher [復習] Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	120分
第13回	Class magazine project introduction	[予習] Read and complete materials from the teacher [復習] Revise writing based on workshop feedback	120分
第14回	Class magazine: Individual and group project work	[予習] Prepare as instructed by the teacher [復習] Revise writing based on workshop feedback	120分
第15回	Class magazine: Individual and group project work (2)	[予習] Work on class magazine, alone and in groups [復習] Evaluate magazine work: how could it be improved?	120分
第16回	Final presentation and creative writing exam	[予習] Prepare portfolio materials using teacher's guidelines. Final portfolio presentation test. [復習] Self-evaluation: what have I learned?	120分
評価方法	Writing portfolio evaluation, 60% In-class work, 30% Final fiction collection project, 10% なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料<テキスト>	All materials will be provided by the teacher.		
授業外学修等	Students will be required to collaborate with classmates for fiction revision, the final magazine project, and other activities.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	木曜日・2限目 (10:50~12:20) ・434研究室 Thursday, second period		

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	人工知能とその活用		
(副題)	Artificial Intelligence and its Practical Application		
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	木曜日	代表時限	2 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	2年後期		
必修・選択区分	選択		

担当教員

職種	氏名
教授	◎ 新森昭宏

授業の概要	画像認識・機械翻訳・対話ロボットなど、人工知能（AI: Artificial Intelligence）を活用した製品やサービスが広く使われ始めている。現在はディープラーニングが人工知能の中核をなす技術となっている。この授業では、人工知能の基礎概念を学んだ上で、ディープラーニングの基礎知識を学び、ディープラーニングを適切に利活用できるようになることを目指す。 <注意>本授業では、スマートフォン、またはタブレット端末、またはPCを利用して、確認テストを行うため、いずれかを毎回持参すること。
実務経験を活かした教育内容	担当教員は、情報サービス企業の研究部門で長期にわたって情報技術の研究開発と情報システム開発・管理に従事した。自然言語処理について、自らの研究開発経験に基づいた説明を行う。また、AIのビジネス利活用におけるプロジェクトの進め方に関して、実務経験に基づいた説明を行う。
キーワード①	アルゴリズム
キーワード②	探索・推論
キーワード③	機械学習
キーワード④	ニューラルネットワーク
キーワード⑤	ディープラーニング

到達目標

到達目標①	人工知能技術の基礎概念を説明できる。 (40%)
到達目標②	人工知能技術の活用状況を説明できる。 (40%)
到達目標③	人工知能の活用について、自らアイデアを出すことができる。(20%)
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー

人間性の向上（DP1）	専門性の向上（DP2）	社会性の向上（DP3）
	◎	

ディプロマポリシー配分比率

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	
専門性の向上（DP2）	100%
社会性の向上（DP3）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現⑨経営情報に関する専門性の向上	現③キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ	教育支援力 ※子ども育成学部のみ
		◎		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎					

授業計画表

回	【授業内容】	（事前・事後学習）	（事前・事後学習時間）
第1回	人工知能（AI）とは： 最近の話題、人工知能研究の歴史 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕 シラバスを読むこと。人工知能に関する新聞記事やTVニュースを見ておくこと。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第2回	人工知能(AI)とは： アルゴリズム、人工知能分野の問題 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕 「ユークリッドの互除法」について調べておくこと 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第3回	人工知能をめぐる動向： 探索、推論 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕 深さ優先探索と幅優先探索についてインターネットで調べておくこと。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第4回	人工知能をめぐる動向： 知識表現 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕 「エキスパートシステム」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第5回	人工知能をめぐる動向： 機械学習・深層学習 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕 「機械学習」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕 授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第6回	機械学習の手法： 代表的な手法（教師あり学習、教師なし学習） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft	〔予習〕 「教師あり学習」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。	180分

	Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	
第7回	機械学習の具体的方法： 代表的な手法（強化学習）、モデルの選択・評価 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕「混同行列」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第8回	中間試験とその内容の解説	〔予習〕第7回までに説明した内容を復習しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、中間試験結果を見直すこと。	180分
第9回	ディープラーニングの概要： ニューラルネットワークとディープラーニング、誤差関数、正規化	〔予習〕「誤差関数」について調べておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第10回	ディープラーニングの概要： 最適化手法、誤差逆伝播法、活性化関数 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕「誤差逆伝播法」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第11回	ディープラーニングの要素技術： ネットワークの構成要素、リカレントニューラルネットワーク、トランスフォーマー、オートエンコーダ （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕「リカレントニューラルネットワーク」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第12回	ディープラーニングの応用例： 画像認識、音声処理、自然言語処理 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕物体認識についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第13回	ディープラーニングの応用例： 自然言語処理、深層強化学習、データ生成、転移学習・ファインチューニング、マルチモーダル、モデルの解釈性、モデルの軽量化 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕自然言語処理についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。	180分
第14回	AIの社会実装に向けて： AIのビジネス利活用、AIプロジェクトの進め方、データ収集・加工・分析・学習 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕最近の新聞で、AIに関する記事について調べておくこと。 〔復習〕講義資料を再確認すること。	180分
第15回	AIの法律と倫理： AIの法律、AIの倫理 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕ディープラーニングの応用例についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。	180分
第16回			
評価方法		中間試験（45%）、期末試験（55%）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。	
使用資料＜テキスト＞		・「ディープラーニング G検定 公式テキスト 第3版」（翔泳社、2024）	
使用資料＜参考図書＞		・「ChatGPTは世界をどう変えるのか」（佐藤一郎、中公新書クラレ、2023） ・「生成AIの仕組み」（岡野原大輔、岩波書店、2024）	
授業外学修等		日頃から新聞記事、テレビ番組などで人工知能関連の情報収集をすること。	
授業外質問方法		メールまたはオフィス・アワーで対応。 （メールアドレスは、shinmori@tuins.ac.jp）	
オフィス・アワー		火曜日・2限目（10:50～12:20）・127研究室	

シラバス参照

講義名	情報社会と情報倫理		
(副題)	Information Society and Information Ethics		
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	月曜日	代表時限	1 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	2年後期		
必修・選択区分	選択		

担当教員

職種	氏名
教授	◎ 新森昭宏

授業の概要	人工知能（AI: Artificial Intelligence）の利活用が進む中で、関連する法律や倫理の知識も重要性を増している。この授業では現代のAIの主要技術であるディープラーニングのリテラシーを問う試験であるG検定の法律・倫理分野のテキストを教科書として、その基礎知識を学ぶ。それに加えて、情報セキュリティ、電子商取引、電子決済、SNSなど、デジタル社会の動向と課題についても学ぶ。 <注意>本授業では、スマートフォン、またはタブレット端末、またはPCを利用して、確認テストや課題を行うので、いずれかを毎回持参すること。
実務経験を活かした教育内容	担当教員は、情報サービス企業の研究部門で長期にわたって情報技術と自然言語処理の研究開発、情報システム分析・開発・管理、知的財産管理に従事した。情報システム分析・開発・管理と知的財産管理について、自らの経験に基づいた説明を行う。
キーワード①	知的財産権
キーワード②	個人情報保護
キーワード③	契約（開発契約、秘密保持契約、サービス提供契約）
キーワード④	AI倫理とAIガバナンス
キーワード⑤	デジタル社会

到達目標

到達目標①	知的財産権の基本事項を説明できる。(30%)
到達目標②	個人情報保護の基本事項を説明できる。(30%)
到達目標③	AI倫理とAIガバナンスの基本事項を説明できる。(20%)
到達目標④	デジタル社会の動向と課題を説明できる。(20%)
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー					
人間性の向上（DP1）		専門性の向上（DP2）		社会性の向上（DP3）	
○		◎		○	
ディプロマポリシー配分比率					
		ディプロマポリシー配分比率			
人間性の向上（DP1）		10%			
専門性の向上（DP2）		80%			
社会性の向上（DP3）		10%			
カリキュラムポリシー					
カリキュラムポリシー①			カリキュラムポリシー②		
現⑤専門分野に共通する基礎知識の向上			現⑨経営情報に関する専門性の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力		協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ	教育支援力 ※子ども育成学部のみ
			◎		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎					
授業計画表					
回	【授業内容】		（事前・事後学習）		（事前・事後学習時間）
第1回	ガイダンス。著作権法。 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）		〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。		90分
第2回	特許法、データ利活用 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）		〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。		90分
第3回	不正競争防止法（営業秘密、限定提供データ、不正競争行為） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）		〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。		90分
第4回	個人情報保護法（全体像、個人情報、個人データ、保有個人データ） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）		〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。		90分
第5回	個人情報保護法（要配慮個人情報、仮名加工情報、匿名加工情報、個人関連情報、医療情報・カメラ画像、海外の個人情報保護制度）、独占禁止法 （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）		〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。		90分

第6回	契約（開発契約、秘密保持契約、AIサービス提供契約）	〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第7回	中間試験 （第6回までの内容について中間試験を行う。試験実施後に解説を行う）	〔予習〕第6回までの内容についてのテキストとスライドを復習しておくこと 〔復習〕中間試験結果を見直し、間違ったところは復習しておく	90分
第8回	AI倫理とAIガバナンス（概要、国内外の諸ルール、プライバシー、公平性） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第9回	AI倫理とAIガバナンス（安全性とセキュリティ、悪用、透明性、民主主義） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第10回	AI倫理とAIガバナンス（仕事、その他の価値、AIガバナンス） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕テキストの該当するページを読んでおくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第11回	視覚障害者と情報技術（外部講師による授業） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕視覚障害者が社会参加するためにはどのようにすれば良いかについて調査し、考察しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第12回	電子決済・電子マネー（概要、メリット、課題） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕電子決済・電子マネーについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第13回	SNS（概要、メリット、課題） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕SNSのメリットと課題について調査し、考察しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第14回	電子商取引(概要、メリット、課題) （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕電子商取引の概要、メリット、課題について調べ、考察しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	90分
第15回	情報セキュリティ（概要、事例、法律） （理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った確認テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。確認テスト実施後に解説を行う。）	〔予習〕情報セキュリティの概要、事例、法律について調べ、考察しておくこと。 〔復習〕授業で説明したスライドを再確認し、確認テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。	90分

評価方法	中間試験（45%）、期末試験（55%）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。
使用資料＜テキスト＞	石川直裕編著、他、「ディープラーニングG検定 法律・倫理テキスト」（技術評論社、2023）
使用資料＜参考図書＞	・特許庁ホームページ（https://www.jpo.go.jp/） ・文化庁ホームページ(https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/index.html) ・情報処理推進機構ホームページ（https://www.ipa.go.jp/security/index.html） ・宇田川敦史、「アルゴリズム・AIを疑う 誰がブラックボックスをつくるのか」（集英社新書、2025）
授業外学修等	日頃から新聞記事、テレビ番組などで、知的財産権・個人情報保護・AI倫理、デジタル社会などの情報収集をすること。
授業外質問方法	メールまたはオフィス・アワーで対応。 （メールアドレスは、 shinmori@tuins.ac.jp ）
オフィス・アワー	水曜日・1限目（9:10～10:40）・127研究室

シラバス参照

講義名	英語文学		
(副題)	English literature		
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	月曜日	代表時限	3 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	3年後期		
必修・選択区分	選択		

担当教員

職種	氏名
准教授	◎ M・Frank

授業の概要	This class will introduce students to English literature, focusing on the power of literature to transform their lives and expand their worldview. In the first part of the course, a wide variety of works, authors, and genres will be introduced. In the second part, the impact of “Japan” on English literature and Japanese literature in English translation will be explored.
キーワード①	Reading
キーワード②	Literature
キーワード③	Critical thinking
キーワード④	Textual analysis

到達目標

到達目標①	1 Develop fluency in reading and understanding English literature (30%)
到達目標②	2 Improve vocabulary, grammar skills, and intercultural knowledge through literature (40%)
到達目標③	3 Cultivate the ability to critically analyze texts in terms of content, structure, and genre (30%)
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー

人間性の向上 (DP1)	専門性の向上 (DP2)	社会性の向上 (DP3)
◎	◎	○

ディプロマポリシー配分比率

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	35%
専門性の向上（DP2）	35%
社会性の向上（DP3）	30%

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現②国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力 ※子ども育成学部のみ	教育支援力 ※子ども育成学部のみ
◎	○	◎		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎		○		

授業計画表

回	【授業内容】	（事前・事後学習）	（事前・事後学習時間）
第1回	Introduction: what is “literature” ? Knowledge and interest evaluation	〔予習〕 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第2回	How to read, understand, and enjoy English literature	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第3回	Diving into Shakespeare: The joy and play of language	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第4回	How to enjoy English poetry: rhythm, music, and words of the heart	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第5回	How to enjoy English poetry: rhythm, music, and words of the heart (2)	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第6回	How to enjoy English fiction: an examination of the human condition	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第7回	Talk about modern (post-war) and world literature	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第8回	Talk about modern (post-war) and world literature (2)	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第9回	Impact of Japan on English literature	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第10回	Japanese literature in English (1)	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第11回	Japanese literature in English (2)	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第12回	Japanese literature in English (3)	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分
第13回	Japanese literature in English (4)	〔予習〕 Complete the homework exercises. 〔復習〕 Review notes and handouts from class.	120分

第14回	Literature and music: studying English through song lyrics	[予習] Complete the homework exercises. [復習] Review notes and handouts from class.	120分
第15回	Literature and music 2: studying English through song lyrics	[予習] Complete the homework exercises. [復習] Review notes and handouts from class.	120分
第16回	Final test	[予習] Prepare for the test as directed by the teacher.	120分

評価方法	Class work and portfolio, 60% Quizzes, 20% Final report, 20% なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。
使用資料<テキスト>	All materials will be provided by the teacher.
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.
オフィス・アワー	木曜日・2限目（10:50～12:20）・434研究室 Thursday, second period

[ウインドウを閉じる](#)